

♪三好代表からのメッセージ



私は瀬戸内海の穏やかな海で泳ぎを覚え、大学生の時に、伊豆七島の三宅島で体験したキャンプリーダーの体験により、海が好きになりました。黒潮に育まれた三宅島の海は青くどこまでも透きとおり、様々な生き物を見ることができ、面白い体験をさせてくれました。また、あるときには台風の接近により、こんなにも大きな波が出来るのかと思うほどの、大荒れの姿も見せてくれました。三宅島は火山の島でもあります。火山と黒潮が作り出した豊かな自然と、そこに生活する人たちから多くのことを学び、子どもたちに伝えてきました。その後、仕事として、三宅島、伊豆大島、三浦半島などの海辺での自然体験活動を実践しています。

日本は周りを海に囲まれた島国です。しかし、現実には「海」から離れた生活が中心となっています。もう一度、「海」から多くのことを学んでみましょう、楽しんでみましょう。きっと、たくさんの新しい発見をすることができるはずです。今、C N A Cでは、「仲間」と活動する「フィールド」を求めています。豊かで美しい海を次世代に継承し、持続可能な社会を創造していくために、「海」とともに、一緒に活動しましょう。

海に学ぶ体験活動協議会 代表理事 三好 利和

理 事

代表理事	三好 利和	野外教育事業所ワンバク大学	代表
副代表理事	神保 清司	NPO法人 千葉自然学校/ 南房総市大房岬自然の家	所長
副代表理事	大塚 英治	(株)沿海調査エンジニアリング	代表取締役社長
池上 正春	(株)日本空港コンサルタンツ	菅原 茂	NPO法人 国際海洋自然観察員協会 会長
海上 智央	(株)自然教育研究センター インタープリター	鈴木 吉春	NPO法人環境ボランティアサークル亀の子隊 代表
小原 朋尚	(公財)笹川平和財団 海洋政策研究所	関口 雄三	認定NPO法人 ふるさと東京を考える実行委員 理事長
	海洋事業実現部 特任部長	檀野 清司	NPO法人国際自然大学校
川口 眞矢	NPO法人Earth Communication	代表	千足 耕一 東京海洋大学 海洋政策文化学部門 教授
紺野 祐樹	(一社)日本セーフティパドルリング協会 事務局長	西胤 正弘	玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体 代表

監 事	岩井 克巳	(株)MacS 代表取締役/ NPO法人海辺つくり研究会	理事
監 事	加藤 利弘	NPO法人 港湾保安対策機構	専務理事

顧 問	岡島 成行	公益社団法人 日本環境教育フォーラム	会長
顧 問	近藤 健雄	日本大学	名誉教授
顧 問	佐藤 初雄	NPO法人国際自然大学校 (NOTS)	理事長
顧 問	津田 修一	一般財団法人 みなと総合研究財団	理事長
顧 問	森川 雅行	(株)不動産テトラ	執行役員副社長

事務局長	港 絢子	一般財団法人 みなと総合研究財団	研究員	※令和7年5月現在
------	------	------------------	-----	-----------

NPO法人 海に学ぶ体験活動協議会（CNAC）事務局
TEL：03-5408-8299
E-mail：cnac@wave.or.jp
担当：港・三岡

※活動内容や入会のお問い合わせなど、どんなことでも
お気軽に事務局までご連絡ください。

www.cnac.or.jp



NPO法人 海に学ぶ体験活動協議会
Council for Nature Activity along the Coast

● 特定非営利活動法人海に学ぶ体験活動協議会（CNAC）

連携の糸を紡ぐ三ヶ年計画 (R07d-R09d)

- ①海辺の体験活動プログラムの開発と人材育成
- ②関係者と会員団体との連携による自立スキームの構築
- ③広報活動の充実

大瀬崎
Photo by K.Danno

豊かで美しい海を次世代へ継承し、持続可能な社会を創造していくためには、多くの人々が海辺の自然を楽しみつつ、海への理解を深め、海辺の環境を保全することの大切さを学ぶことが必要です。このため、「海辺の自然体験活動」を活性化します。

海辺の自然体験活動を推進する団体および幅広い個人の交流を支援し、海辺の自然体験活動を支える指導者を育成するほか、海辺の自然体験活動を円滑に推進するための調査研究や普及啓発を図り、良好な海辺の環境の保全及び創出に努めます。

海辺の自然体験活動憲章

—— 海辺の自然体験活動は、

1. 海辺で遊び学び育て、感動するよろこびを伝えます。
2. 海への理解を深め、海を大切にする気持ちを育てます。
3. ゆたかな人間性、心のかよった人と人のつながりを創ります。
4. 人と海が共存する文化・社会を創造します。
5. 海の力と活動にともなう危険性を理解し、安全への意識を高めます。

● 団体概要

団体名	NPO法人海に学ぶ体験活動協議会
所在地	105-0001 東京都港区虎ノ門 3-1-10 第2虎の門電気ビルディング4階
TEL	03-5408-8299
FAX	03-5408-8741
設立	2006年
代表理事	三好利和
会員数	正会員24人 賛助会員7人 一般会員32人 ※2025年6月1日現在

● 沿革

2006年5月	任意団体として設立
2006年12月	内閣府に設立申請書類一式提出、法人認証申請
2007年1月	第1回全国フォーラム開催（代々木）
2007年4月	法務局にて法人登記完了
2007年5月	NPO法人として活動をスタート
2008年2月	第2回全国フォーラム開催（唐津）
2009年1月	第3回全国フォーラム開催（代々木）
2009年10月	第4回全国フォーラム開催（小樽）
2011年1月	第5回全国フォーラム開催（代々木）
2012年2月	第6回全国フォーラム開催（品川）
2013年2月	第7回全国フォーラム開催（品川）
2014年1月	第8回全国フォーラム開催（横浜）
2015年1月	第9回全国フォーラム開催（豊橋）
2016年2月	第10回全国フォーラム開催（館山）
2017年1月	第11回全国フォーラム開催（品川）
2018年1月	第12回全国フォーラム開催（品川）
2019年1月	第13回全国フォーラム開催（品川）
2020年2月	第14回全国フォーラム開催（横浜）
2020年11月	第15回全国フォーラム開催（ZOOM）
2021年11月	第16回全国フォーラム開催（ZOOM）
2022年11月	第17回全国フォーラム開催（塩釜）
2023年11月	第18回全国フォーラム開催（阪南）
2024年11月	第19回全国フォーラム開催（横浜）
2025年11月	第20回全国フォーラム開催（小樽）※予定



● 協議会の活動計画



◆ネットワークの支援・拡大と情報の収集・発信
ホームページやメールマガジンの充実を図ります。会員相互はもとより、関係機関などの情報や各地で開催されている海辺の活動や各種イベント等の情報を発信して、参加を呼びかけます。

◆安全対策の支援と保険制度の充実
海辺の活動に対する安全対策（危険予知、安全管理、救助法、救急法など）について、講習会・研修等を通して技術の向上を図り、より安全性の高い活動の普及をします。

◆指導者研修の開催
指導者養成講座で必要な人材を育成する研修などを開催することにより、今後増大する海辺の自然体験活動指導者の質の向上を図ります。

◆会員団体への支援
全国各地で実施される活動の連携を推進したり、各種イベントを後援するなど、会員の活動を支援します。各地域の会員や港の関係者により「地域懇談会」を開催し、海の体験活動実施上の課題解決を支援します。

◆調査研究の実施
会員主催の指導者養成講座のプログラム作成、海辺の自然体験活動ガイドブックや安全対策マニュアルの作成等、海辺の自然体験活動の活性化に資する調査研究を行います。

◆書籍・教材の卸・販売
海に学ぶ体験活動に関する書籍・教材の卸・販売事業を行います。



● 活動の対象

砂浜、磯、干潟などの海辺や海で活動し、海辺の自然体験活動憲章に賛同する団体・個人およびその活動を対象とします。